

Ⅲ 調査結果から見えてきた 主な課題と対策



1 宮城県調査結果から見てきた主な課題及び対策と懸案事項

(1) 課題と対策

【課題1】小学校において、多くの項目が横ばい状態であり、向上傾向に至っていない。 <ul style="list-style-type: none">・前年度と比較して、ほとんど変化のなかった項目が多い。・全項目の約3割以上が震災前の平均値を下回っている。	
対 策	① 県内公立全小学校の体育主任等を悉皆とした「体力・運動能力向上に関する講習会」の開催 <ul style="list-style-type: none">・児童の体力・運動能力を向上させるための県の施策や体力向上の意義を説明し、各学校の取組の徹底を図る。・課題種目に対する各校の効果的な取組を情報交換し、指導の参考とする。
	② 宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査報告様式の変更（各学校作成） <ul style="list-style-type: none">・各学校が体力・運動能力向上に係る課題を整理し、目標を明確にして具体的な取組を推進するよう、小学校において、従来の報告様式を一部変更する。（体力向上に係る各校の目標の明確化、体力向上実践一校一取組の推進等）
策	③ 長なわ跳び大会（元気アップみやぎっ子！『web』長なわ八の字跳び大会）の開催 <ul style="list-style-type: none">・児童の運動習慣確立の観点から、学級全体で取り組める本事業への参加について啓発する。・継続的に運動に取り組むことで、持久力や瞬発力を養う。
	④ 関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none">・体育の授業改善や適切な体力測定実施に向けて大学等の研究機関や各種学校体育研究団体の協力を得ながら進めて行く。

【課題2】「握力」及び「ボール投げ」において低下傾向が続いている。 <ul style="list-style-type: none">・小・中・高等学校全ての校種において、平成22年度より低下している学年が多い。・中期的にみても、多くの学年で低下している。	
対 策	① 県内公立全小学校の体育主任等を悉皆とした「体力・運動能力向上に関する講習会」の開催 <ul style="list-style-type: none">・体力・運動能力調査に係る正確な調査方法（握力等）及び、課題種目（ボール投げ等）に対する動作指導の方法の研修を行う。
	② 体力・運動能力向上出前研修会の開催 <ul style="list-style-type: none">・「みやぎっ子！元気アップエクササイズ」をはじめ、多様な運動や、課題となる種目の動作指導の研修をすることで、体育授業の改善を図るとともに、各学校の課題に応じた研修会を実施する。
策	③ みやぎっ子元気アップ通信の発行 <ul style="list-style-type: none">・県教委として体力・運動能力向上に係る課題を明確にし、課題解決に向け、「握力」や「ボール投げ」の動作指導の方法や運動事例の紹介等の情報発信を「みやぎっ子元気アップ通信」とおして行う。

(2) 懸案事項

【懸案事項1】震災の影響について、今後も児童生徒の体力・運動能力の動向を注視していく。	
<ul style="list-style-type: none">・沿岸地域の体力・運動能力の状況については、学年・男女によりそれぞれ向上した種目や低下した種目が見られる状況である。そのことから震災による明らかな低下は認められず、その影響については不明である。・しかし、まだ運動環境に制限がある学校もあることから、震災の影響については、今後もその動向を注視していく必要がある。	
【懸案事項2】長期的に見るとまだピーク時の水準に達していない。	
<ul style="list-style-type: none">・中長期的に見ると、どの校種においても一時期の低下傾向に歯止めがかかりつつあり、横ばい、もしくは向上傾向も窺わせているが、ピーク時の水準までには至っていない。	
【懸案事項3】小学校での状況を踏まえ、幼児期からの運動習慣の確立が重要である。	
<ul style="list-style-type: none">・「立ち幅とび」や「ボール投げ」等、動作指導を伴う種目について小学校低学年からの低下傾向が見られ、幼児期から多様な運動を経験させることが重要である。	

2 宮城県調査結果からの課題解決に向けた平成27年度における県教育委員会の取組

① 「体力・運動能力向上に関する講習会」の開催

子どもの体力・運動能力を向上させるための県の施策や体力向上の意義を県内すべての小学校体育主任等に理解・周知させるとともに、各学校の体力・運動能力向上に係る取組の情報交換を行うため、年度当初の4月に県内2会場で各小学校悉皆研修として実施する。

平成27年4月15日（水） 石巻市河北総合センター

平成27年4月16日（木） 名取市民体育館 他

② 「体力・運動能力向上出前研修会」の実施

各教育事務所等が主体となって、当研修会を設定し、体育授業改善に資する運動の紹介や「みやぎっ子！元気アップエクササイズ」等の指導を行うため、体力向上に係る指導教員を希望する学校に派遣する。

26年度実績 実施校 37校 27年度目標数値 実施校 42校

③ 長なわ跳び大会（「元気アップみやぎっ子！『web』長なわ八の字跳び大会」）の実施

運動機会創出の一助とするため、広く県内で希望する小学校を対象に、長なわ跳び運動に楽しくチャレンジさせ、その結果をみやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業のホームページ上で取りまとめ、随時公表する。

26年度実績 前期（5～6月）参加校 39校 27年度目標数値 前期参加校 200校

後期（1～2月）参加校 173校 後期参加校 300校

④ 「宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査」報告様式（各学校作成）の変更（一校一取組の実践の推進）

【新規】

各学校が、体力・運動能力向上に向けた取組を実践するよう、小学校において平成26年度までの報告様式を変更する。

ア 各学校の目標の明確化

イ 体力・運動能力向上に向けた一校一取組の実践

⑤ 「宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査」報告書（県教委作成）の内容の充実

各学校が、体力・運動能力向上のための資料として活用できるように改善を図る。

ア 県全体の傾向や中長期的な傾向及び地域別の特色を掲載する。

イ 各学校の取組の好事例を掲載する。